

【概要版】

第7次那須町振興計画

基本構想 2016～2025

後期基本計画 2021～2025

(素案)

～みどり輝き活気と笑顔あふれるまち ふるさと那須～

令和2年 月

那須町

第7次那須町振興計画後期基本計画（素案）【概要版】

第I部 基本構想

1 那須町の将来像

行政と町民が一体となってまちづくりに取り組んでいくための目標として、平成28年度から令和7年度までの10年間を展望した本町が目指すべき将来の姿を以下のとおり設定しています。

みどり輝き活気と笑顔あふれるまち ふるさと那須

将来像のイメージ

“みどり輝き”とは

町民はもとより、那須町を訪れる人が愛してやまない那須の大自然が守られている。また、本町の重要産業である農業、林業等の活性化が図られ、生産者、消費者双方にとって魅力あふれるまちとなる姿をイメージする。

“笑顔あふれる”とは

子どもから高齢者まで、町民はもとより、那須町を訪れる全ての人の安全が確保され安心して過ごし、暮らせている。また、健康増進、スポーツ振興、文化振興が図られ皆が元気に笑顔で過ごしている姿をイメージする。

“活気”とは

那須町に住んでいる人、仕事や学業、観光で訪れる人、また企業や団体が積極的に交流し、社会的、経済的活気に満ちあふれている。また、那須町の歴史と伝統を継承しながら、皆で協力し、より良いまちづくりのため常に新しいことに挑戦している姿をイメージする。

“ふるさと那須”とは

那須町に関わる全ての人、企業、団体が協働のまちづくりのもと、本町が持つ資源、特色を最大限発揮し、一人ひとりが自分のまちに誇りを持ち、住み続けたいと思う「ふるさと」になる。また、本町の持つ魅力が広くPRされ、多くの人にとって新たな「ふるさと」になることをイメージする。

2 基本方針

平成28年度からスタートした基本構想に定めている町の将来像「みどり輝き活気と笑顔あふれるまち ふるさと那須」を基本とし、持続可能なまちづくりの理念として「SDGs」の考え方を念頭に、8つの基本方針を継続します。

基本方針1 “自然・環境・共生”のまち

基本方針2 “住まい・暮らし・定住”のまち

基本方針3 “子育て・健康・福祉”のまち

基本方針4 “観光・交流・連携”のまち

基本方針5 “しごと・活力”のまち

基本方針6 “安全・安心”のまち

基本方針7 “教育・文化・スポーツ”のまち

基本方針8 “協働・行財政”のまち

3 重点的な取り組み

本町が直面している人口減少や少子高齢化、社会インフラ等の確保などの課題に対応し、町の魅力・活力が今後とも維持されるよう特に重点的な取り組みを以下のとおり設定します。

定住(移住)を促すまちづくり

ゆとりある暮らしを志向する多くの高齢者の転入に加え、若者層においても本町に住む魅力が感じられるよう、住みやすいまちづくりや観光・交流の場づくりに努めます。

また、若者層が住みやすい町営集合住宅等の建設を推進し、新たな居住者を積極的に受け入れる環境づくりに重点的に取り組みます。

子育てしやすいまちづくり

子どもたちは、次代のまちづくりを担う地域の宝であると同時に、これ以上の少子化の進展は本町の活力低下に大きな影響を与えるため、合計特殊出生率の向上を目指し、親が安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりに重点的に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症対策

令和2年1月16日の国内初の感染確認報道から都市部を中心に感染者が増加し、感染経路が不明な感染が多数発生しました。さらに、世界的な感染拡大に発展し国内で発見される輸入症例も増加したことから、政府は4月7日に緊急事態宣言を発出し、国民一丸となって感染症拡大防止に取り組んだところです。

しかしながら、終息には、更に時間を要するため、感染拡大防止対策の継続が必要です。また、経済活動や今までの生活様様に大きな影響を及ぼしていることから、各種対策について重点的に取り組みます。

4 将来人口の展望

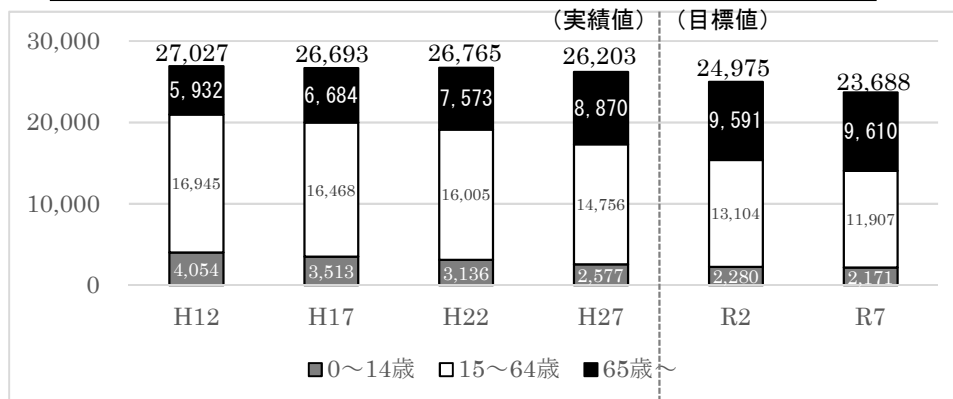
— 那須町の将来人口の予測 —

平成27年の国勢調査人口24,919人を基準に、国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、令和7年には約22,000人にまで減少が見込まれ、少子高齢の傾向が一層進展するものと予測されます。

— 人口減少傾向の抑制に向けて —

第7次振興計画においては、若年層の転出抑制や流入の促進、子育て層を中心とした暮らしやすい環境づくりなどを重点的な取り組みとして位置づけ、可能な限り人口減少傾向の抑制に努めていくものとします。

【那須町の将来人口の展望】 令和7年 23,688人



注) 将来人口は、住民基本台帳を基準として国立社会保障・人口問題研究所が示した減少率を参考に推計したものです。

5 まちの空間構造

豊かな自然環境や変化に富んだ地形条件を守り、これまで築かれてきた市街地や広域交通基盤などの既存資源を最大限に活かしながら、本町における定住機能や連携・交流機能を高め、環境や都市経営の観点からも持続可能となる、まちの空間構造の形成を図ります。



—ゾーンの形成—

- 自然環境ゾーン【那須連山】
…環境の保護や生態系の維持を基本とした保全
- 森林ゾーン【八溝山地】
…農業生産基盤や林業生産基盤との調和を基本とした保全
- 田園・平地林ゾーン
…農業生産基盤の保全や良好な集落地・優良な保養地としての環境形成
- 住宅ゾーン
…それぞれの地区が持つ立地特性に応じた良好な居住環境を有する住宅地の形成
- 商業・業務ゾーン【JR黒田原駅周辺、湯本地区周辺】
…既存の商業機能の向上による日常的な生活を支える近隣商業地の形成
周囲の自然景観と調和した店舗・施設等の適切な集積・立地による観光商業地の形成
- 工業ゾーン【菱喰内工業団地、黒田原地区の準工業地域】
…広域交通アクセスの利便性を有し周囲の自然と調和した良好な操業環境の維持・充実

—拠点の形成—

- 活力拠点【JR黒田原駅周辺】
…本町の様々な活動が展開される中心地としてふさわしい環境の形成
- 定住拠点【JR高久駅周辺地区、新高久地区】
…周囲の自然と調和した快適でゆとりある暮らしを支える定住環境の形成
- 観光拠点【湯本地区・那須高原地区、芦野地区等の町内拠点エリア】
…国内外の広域的な観光の受け皿となる環境の形成
- 交流拠点【広谷地地区・伊王野地区の道の駅】
…観光客や地域のさまざまな生活ニーズを支える機能強化（芦野地区の遊行庵の交流拠点化の推進）

—軸の形成—

- ↔ 広域交流軸（高速道路）【東北縦貫自動車道】
- ↔ 広域交流軸（国道）【一般国道4号】
…東京圏や東北圏、県都宇都宮市等との広域的な交流を担い産業活動の振興や観光の活性化を促す骨格軸
- ↔ 交流軸【一般国道294号、主要地方道那須高原線・矢板那須線・那須西郷線・黒磯棚倉線、一般県道豊原高久線等】
…周辺市町との連絡や町内の各地域の交流を担い本町の日々の暮らしを支える主要な軸

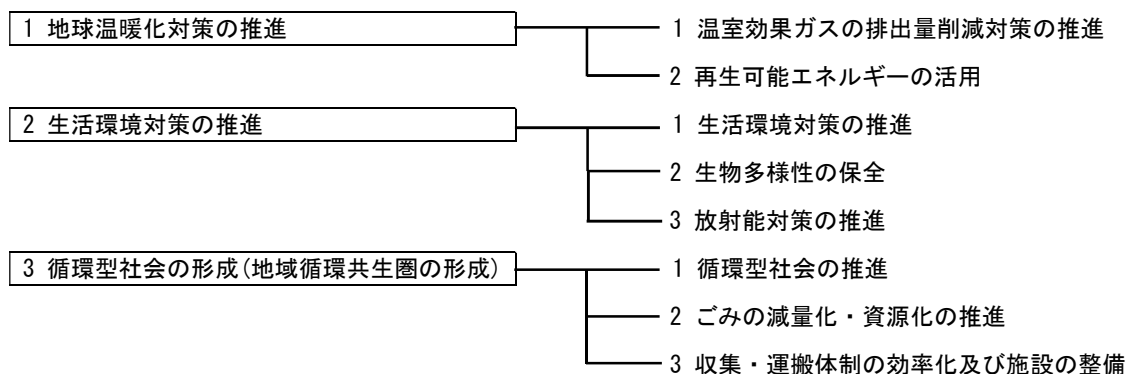
第Ⅱ部 基本計画

第7次那須町振興計画基本構想（平成28年度から令和7年度までの10年間）において定めた那須町の将来像の実現に向け、後期5年間（令和3年度から令和7年度まで）において取り組む具体的な施策を体系的に整理するものです。

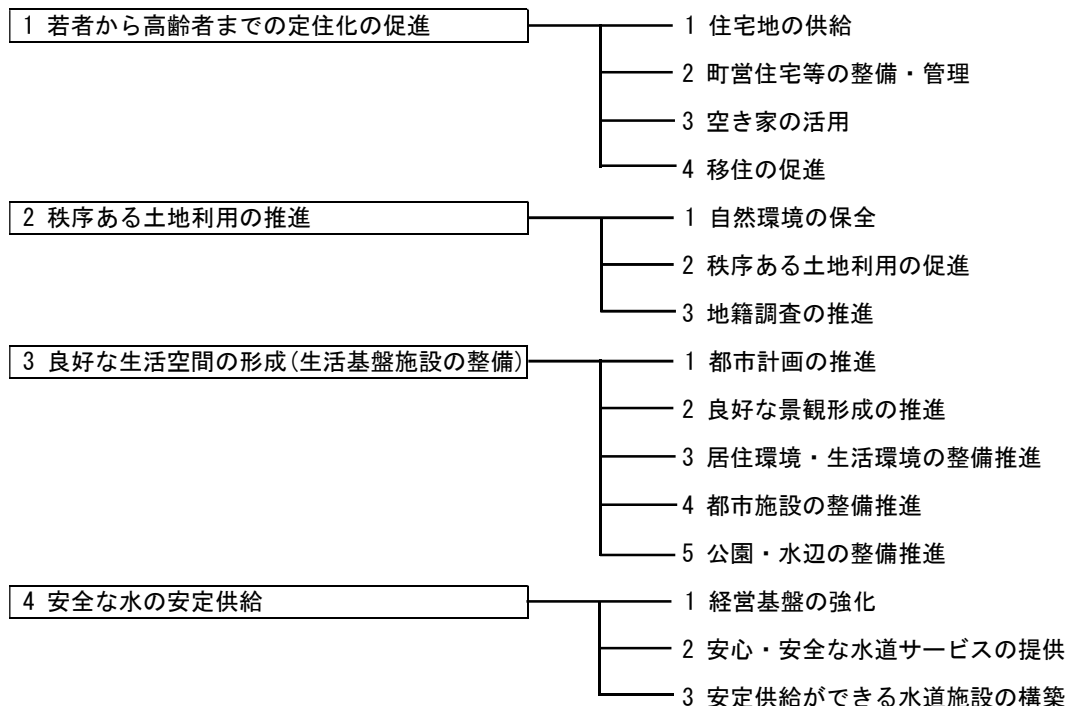
なお、計画期間中において、新型コロナウイルス感染症や豪雨等の災害など、地域社会に大きな変化が生じたときは、必要に応じ見直しを行います。

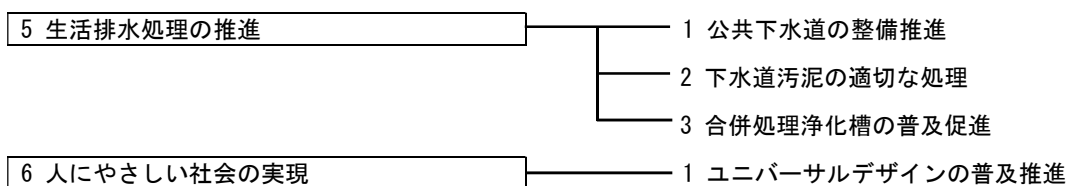
【基本計画の構成】

基本方針1 “自然・環境・共生”のまち

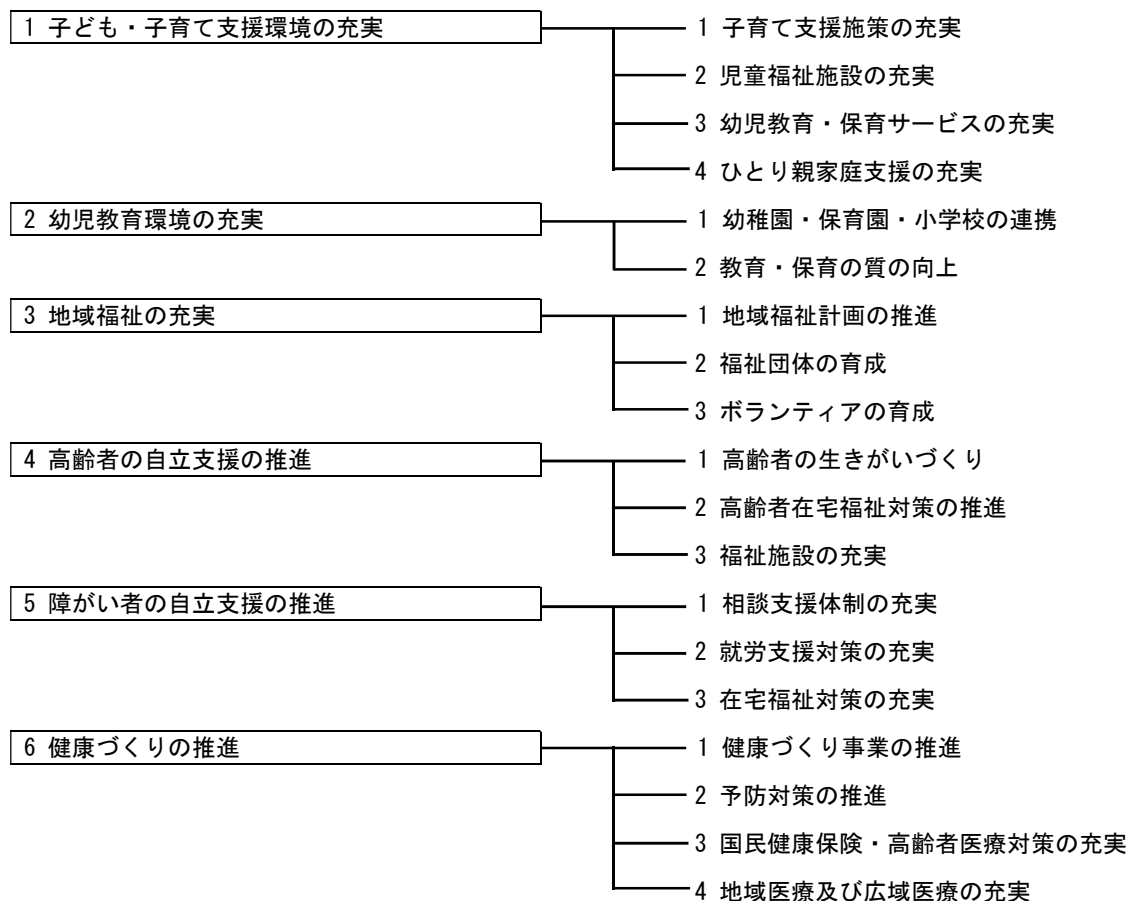


基本方針2 “住まい・暮らし・定住”のまち

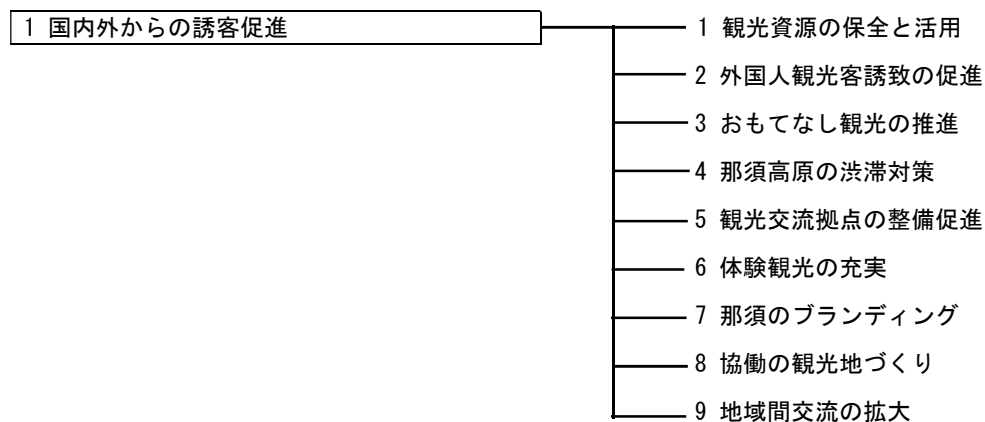


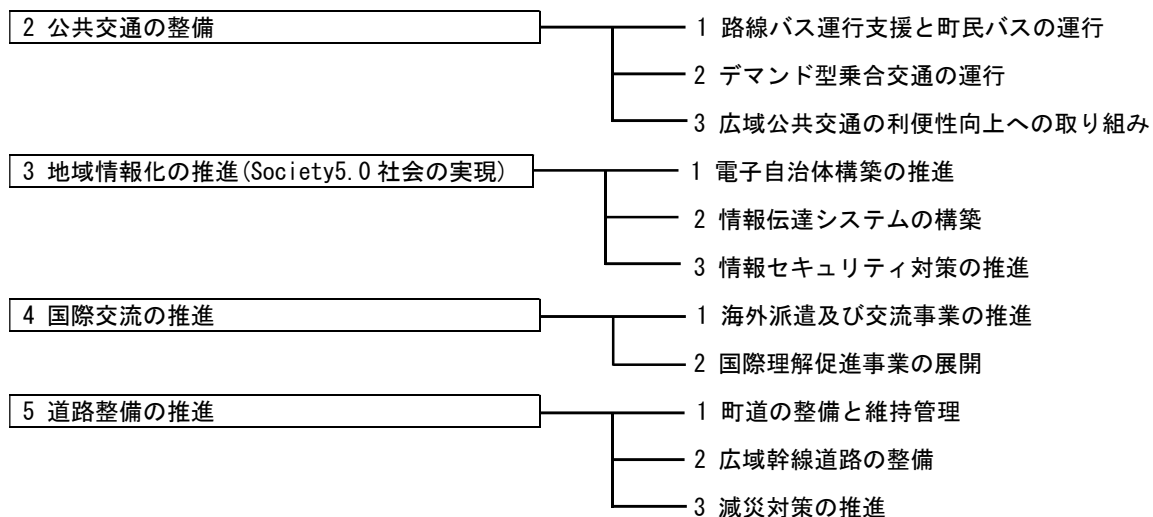


基本方針3 “子育て・健康・福祉”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

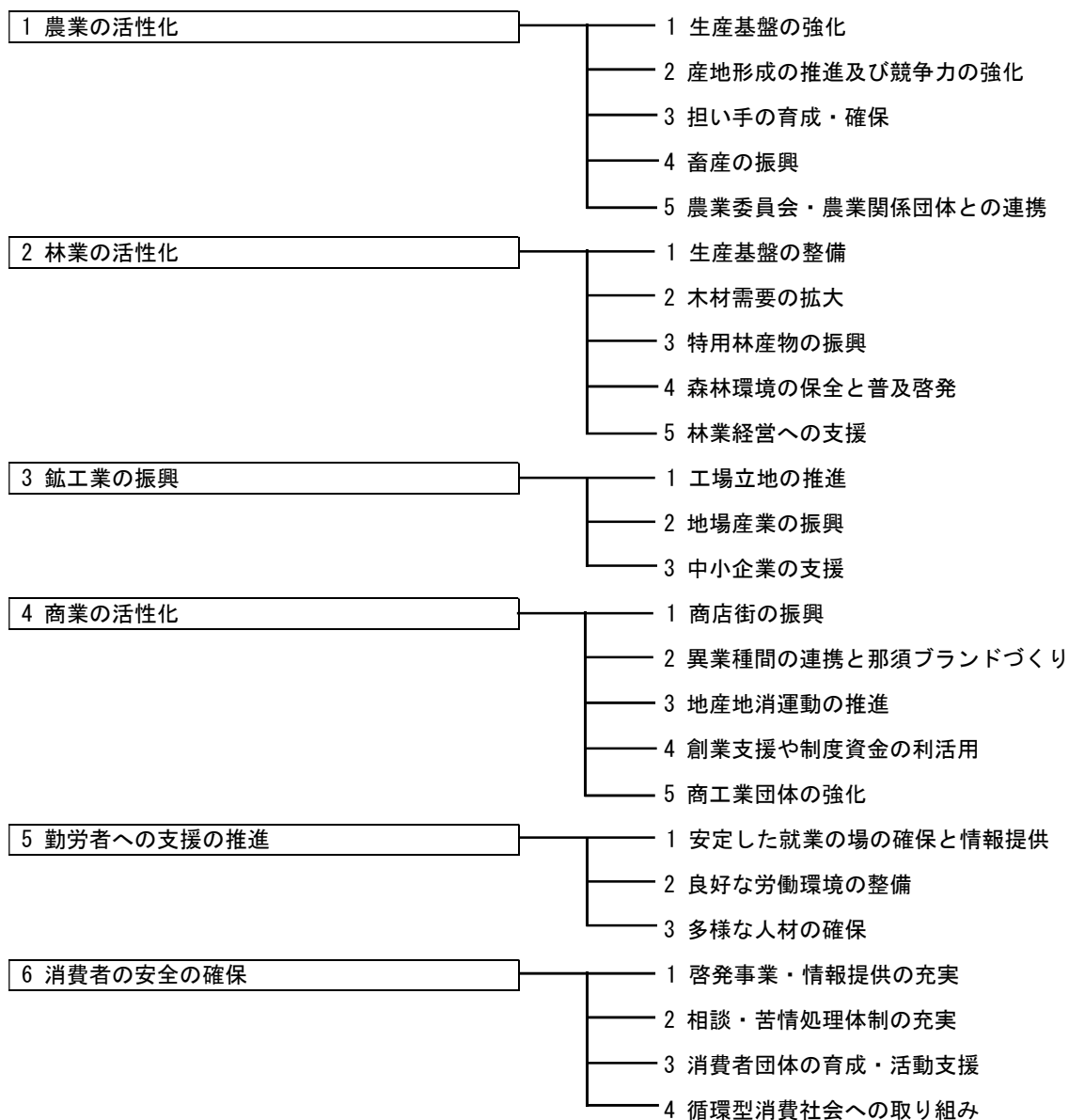


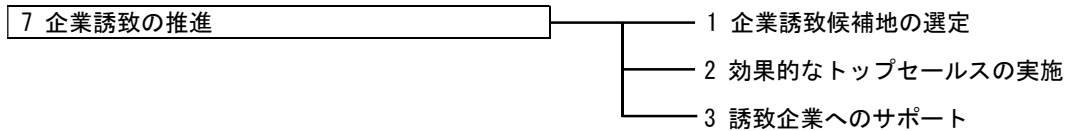
基本方針4 “観光・交流・連携”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



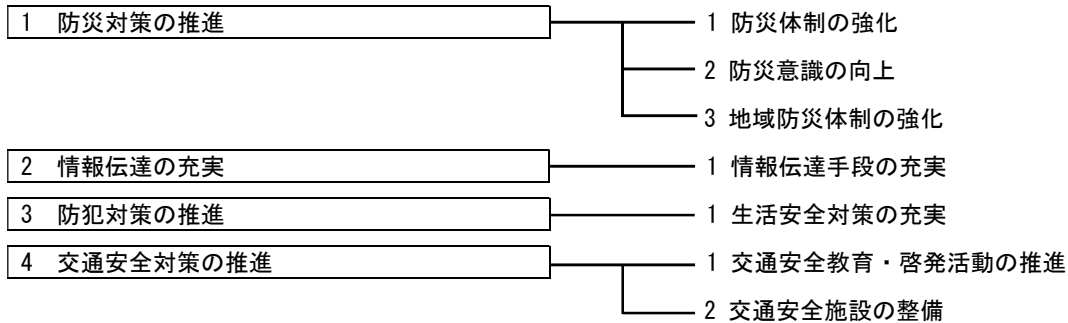


基本方針5 “しごと・活力”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

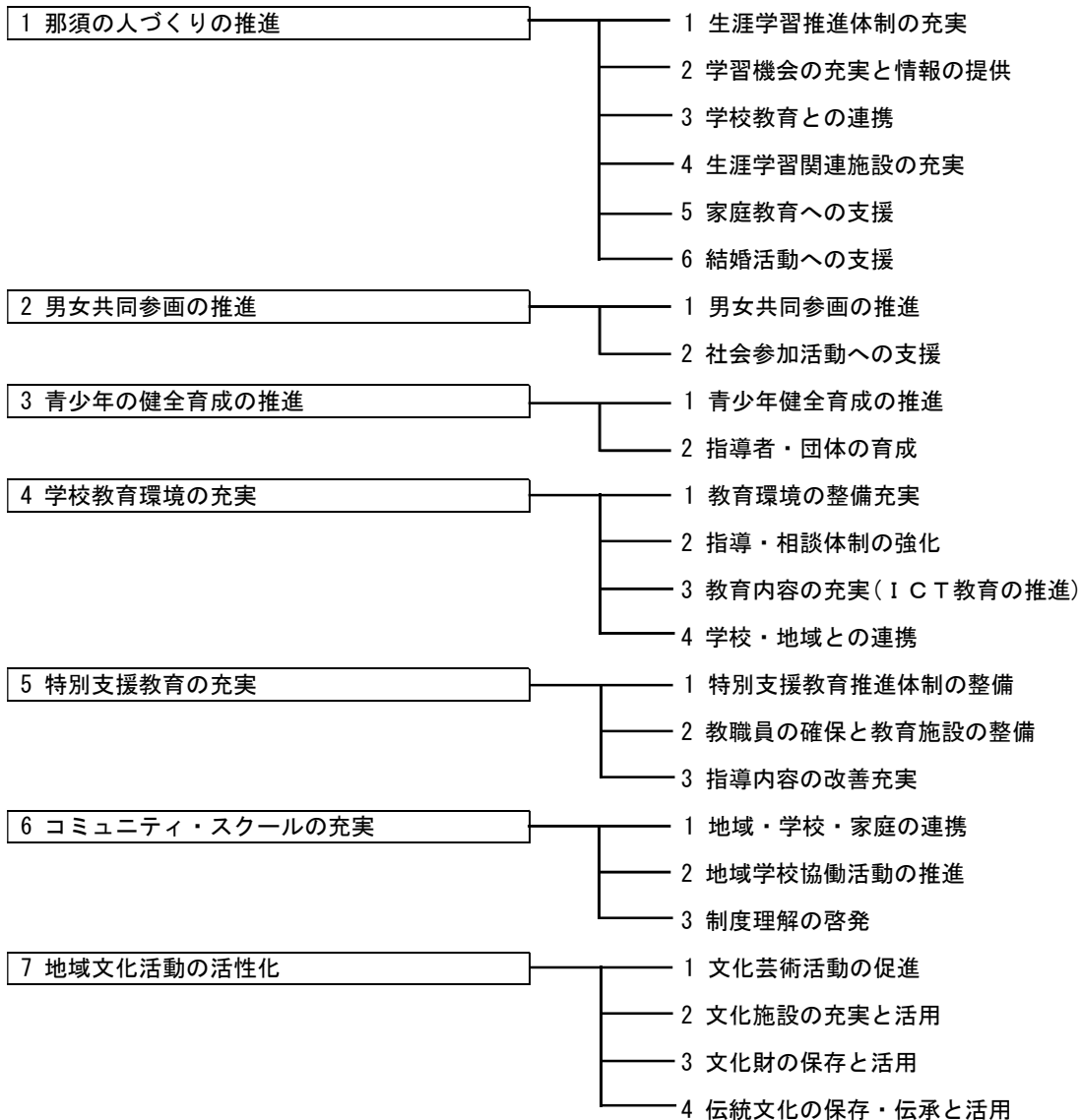


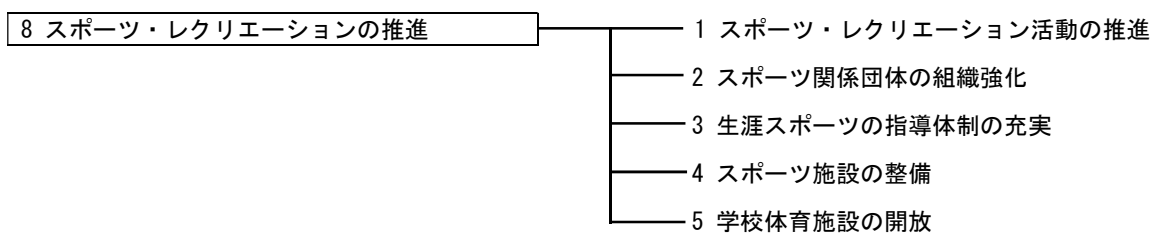


基本方針6 “安全・安心”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

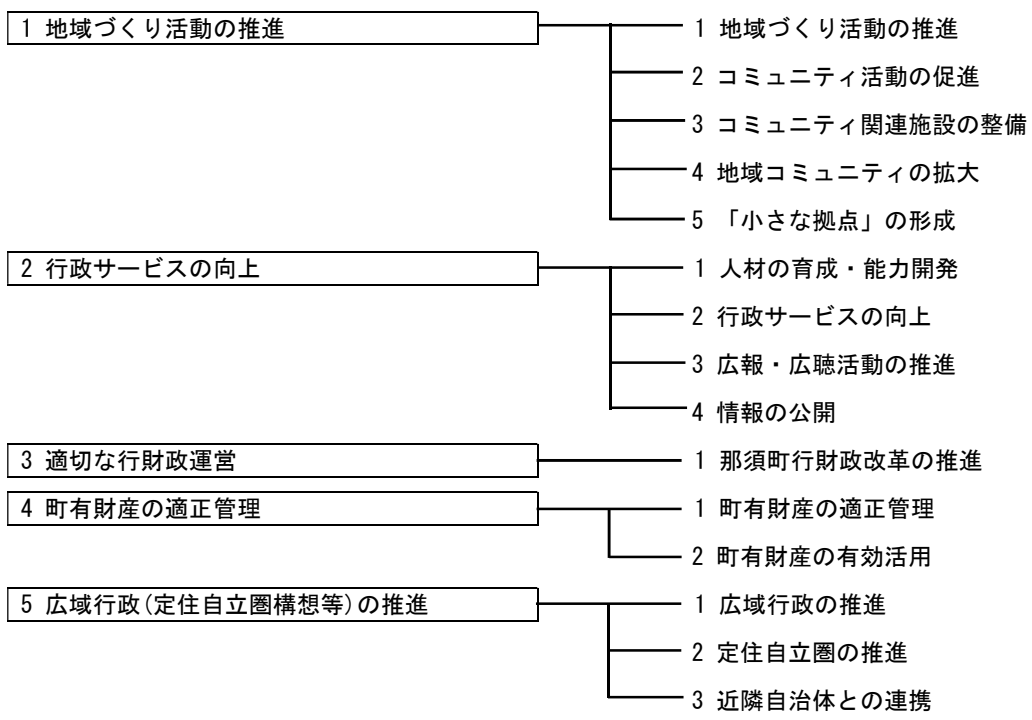


基本方針7 “教育・文化・スポーツ”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・





基本方針8 “協働・行財政”のまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



【発行】 那須町 企画財政課
〒329-3292
栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13
TEL : 0287-72-6906
FAX : 0287-72-1133
ホームページ : <http://www.town.nasu.lg.jp/>
E-mail : kikaku.@town.nasu.lg.jp